

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
鹿教湯地区

平成22年3月

長野県上田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	交流センター-利用者数	人/年	6,100	75,300	96,297	確定 見込み		あり なし	99,616	H22年1月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	観光交流イベント等が開催され利用者の増加につながった。
指標2	クアハウスの利用者数	人/年	26,000	30,000	32,582	確定 見込み		あり なし	31,070	H22年1月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	バリアフリー-整備等を実施したことにより、利用者の増加につながった。
指標3	宿泊比率	%	82.9	90.0	87.0	確定 見込み		あり なし	86.6	H22年1月	宿泊客・日帰り客ともに増加したため宿泊比率が未達成。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	地区内整備が図られ交流人口が増加し、宿泊客・日帰り客ともに増加したが、宿泊比率の目標値は達成できなかった。
指標4	宿泊客の温泉地満足度	%	60.0	80.0	80.4	確定 見込み		あり なし	81.9	H22年1月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	地区内の整備を実施したことにより、来訪者と地元住民の交流等が図られ目標値が達成された。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	交流センター・クアハウス施設の利用比率	%			19.9	確定 見込み			21.6	H22年1月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	交流センター-及びクアハウスでの事業内容を検討し利用者の増を図る。
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	交流センター - 利用者の増加	松茸千人鍋、収穫祭、盆踊り、交流センターで実施 温泉を利用した健康づくりをめざして食・浴の秋まつり開催	老朽化による利用制限が無くなり、目標利用者数が 30%増し、観光の交流拠点として、地元住民と観光 客との交流の拡大が図れた。	温泉郷の交流拠点施設として、地元住民と観光客の交流がうま れ、また、文化の伝承施設、伝統行事の情報拠点施設として活 用されている。温泉郷全体の利用者増にもつながる取り組みを 地元住民、観光協会、旅館組合と連携し今後検討。
	クアハウス利用者の増加	施設のバリアフリー化により安心して体感出来る施設整備 交流センター、文殊堂境内を利用・連携した健康広場の実施 温泉入浴プログラムの、個人別・症状別プログラムの充実	バリアフリー化により人によさしい施設に整備され、 温泉入浴プログラムも充実させたことにより、利用者 の増加が図られた。	保養、保健、療養的機能が高まっている温泉郷であるので、高齢 者や障害者、中長期滞在客も含めすべての人が安心して、快適 に利用できる施設運営と、健康について楽しく学ぶ取組み、温泉 入浴プログラムの充実を図る。
	利用者の満足度の維持	森林浴の出来る遊歩道や温泉地内散策道路の整備 五台橋通り抜け茶会、氷灯ろう夢祈願の開催	施設整備や基盤整備により、景観が保全され、中長 期滞在客が散策し、交流できる温泉地として、利用 者の満足度が維持された。	施設整備や基盤整備を進める中で、人や環境によさしい地域づ くりを行い、景観の保全に取組み、統一感の取れた落ち着いた、 おもてなしのある温泉地として、利用者満足度を高める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	宿泊増加対策の検討	春まつり、ホテルツアー、星の観察会、 ストリートフェスティバル、盆踊り、 松茸千人鍋、収穫祭、五台橋通り抜け茶会、 氷灯ろう夢祈願の開催	季節に応じたイベントを開催することが出来、地元 住民、観光客の交流が図られ、利用者の増加につ ながった。	歩行者を大切にしたい道づくり。年間を通じたイベントの開催。健康 と文化の温泉郷として湯治場としての雰囲気づくり、地域住民や 観光客、中長期滞在客が散策し、楽しく交流できる整備を進め、 宿泊客の増加を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項